

町田市議会議員 **若者育成の街**

吉田つとむ

連絡先 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12
サンホワイトE103-13 (自宅) 個人メールは→



ホームページ ブログ



連絡は電話・
メッセージャ
ーも可能です



インターン生と研修中

夏秋行事ことごとく中止

今年の地域の夏祭り、盆踊り、納涼祭はことごとく中止が決定されています。氏神様を祀る行事もほぼ全てが中止です。一部に、役員の人たちで神様を祀る神事だけは行われることでしょうか。さらに、町田市の中心部で大規模に開催される、第34回フェスタまちだ、町田時代祭り、キラリ☆まちだ祭、第47回町田市農業祭、町田夢舞生ススイ祭もことごとく、関係者によって中止が決定されたということです。夏から秋の「防災訓練」も中止でしょう。これらは、春の時点で企画され、夏の間には会議や準備が進められることで、秋の開催が難しくなるものです。



ところで、7月1日以降、東京都内のコロナウイルス感染者数が一挙に増加したことで、そうした祭り・イベントの開催は年末・年始の大型行事まで、とにかく人が集まる、人を集める形式は開催を取りやめるか、極端に規模を縮小するか、主催者は大選択を強いられるでしょう。最終的には、東京オリンピック開催の可否が問われることが現実味を帯びてきたと思います。

リニア新幹線開通の遅れと静岡

リニア中央新幹線（東京～名古屋）の開通に関して、川勝静岡県知事とJR東海金子社長は初めて会談を行いました。リニア中央新幹線は、東京（品川）～名古屋間を結ぶものですが、静岡県の北部山岳地域をトンネルで通り抜け、大井川水源の流れを大きく変える可能性が高いものです。しかも、その静岡県内には停車駅が設定されておらず、静岡県にとっては何のメリットも無く、逆にデメリットが生じる類のものであるわけです。

今回、JR東海側が国策的なこと、あるいは社運のことを静岡県に百万回繰り返しても、私は話が進まないものと思っていました。そうした話の筋からも、JR東海側の都合を静岡県側が丸のみできるわけがないことは、自明の理であるはずですが。それなのに、JR東海金子社長は、自分の都合（2027年開通予定）だけのペーパーを横目に見ながら、自己説明に終始していました。この事態を進展したければ、JR東海側の交渉人を変え、必要ならば社長を変え、真摯な態度を静岡県側に接することが必要だと思いました。



品川駅の次が、相模原市緑区橋本になります。

★ 町田市議会第3定例会の主な日程：町田市議会予定：7月下旬に臨時議会を開催。第3定例会の主な日程：告示・議案配布 8/20、一般質問通告締切 8/24、本会議提案・（請願受付締切）8/27、議案説明会・全員協議会 8/28、一般質問 9/1-7、委員会 9-18、最終日表決 9/30

*コロナウイルス対策で、ただ今傍聴席の使用ができず、モニター視聴です。ご理解ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆インターンシップが定評

町田市議会
東京都町田市森野
2-2-22(〒194-8520)
☎042-724-2171
「保守の会」会派室
自宅:042-795-7361
yoshidaben@gmail.com

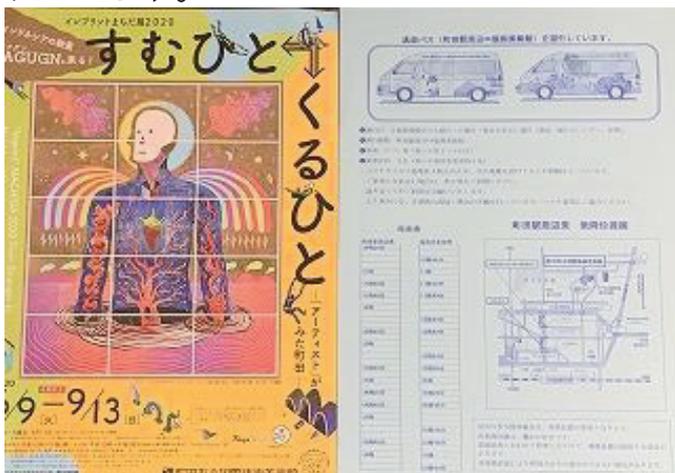


FAX:042-795-2726

鑑賞するなら版画美術館

「町田市立国際版画美術館」の企画やその他の案内です。まず、「すむひと、くるひと」—「アーティスト」がみた町田—と言う企画展示会が9/13まで開催中です。

「すむひと」は町田市在住の有名画家と市民、そして、「くるひと」はインドネシア等から招へいたアーティストの版画を軸にした作品が展示されています。あわせて、9月5-6日にはインドネシアフェアが予定されています。



交通手段のことですが、企画展示中の土・日・祝日は送迎バスが運行されます。通常の乗車場は、JR町田駅前の原町田大通り、路線バスの乗車場の先、マツモトキヨシ付近になります。

なお、美術館内は日ごろから満員になるような施設ではありませんが、入場者には、検温協力、マスク着用。手消毒、2m間隔、会話を控える要請があり、人が多くなった場合、入場制限が行われます。また、休息イスの制限もあります。売店・受付の飛沫防止シールド、スタッフのマスク、フェイスシールド等の着用が行われています。

信用金庫と地域経済

セミナーは会場と zoom 参加に分散して開催

超党派自治体議員で作る「清溪セミナー」は、住民主体の地方自治を進めるために、第25回セミナーを10.21-22日の日程で、日本青年館（神宮球場前）で開催します。その講師の一人に、金融機関の専門家を招きます。
講師：吉原 毅 氏

(元城南信用金庫理事長、現在は顧問)

題目：新型コロナ感染拡大と今後の経済活動
～支えあい再興へ～

講演内容（予定）は、新型コロナウイルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人をつなぎ、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を行うものです。吉原毅氏は、東日本大震災後、被災地支援を勢力的に行うと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して、「脱原発」を宣言。17年に全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設しました。

城南信用金庫は、災害発生に際し、被災地支援の活動を続けており、金融機関では3大メガバンクと同額（1億円）を都度寄付し、直近の熊本地震では、3大メガバンクが各3千万円を拠出する中、単独で1億円を拠出しています。



写真は、2016.5.10-12 単独で熊本地震の被災地を訪れた際、自分で撮影したものを掲載

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報に基づき厳守されます。